

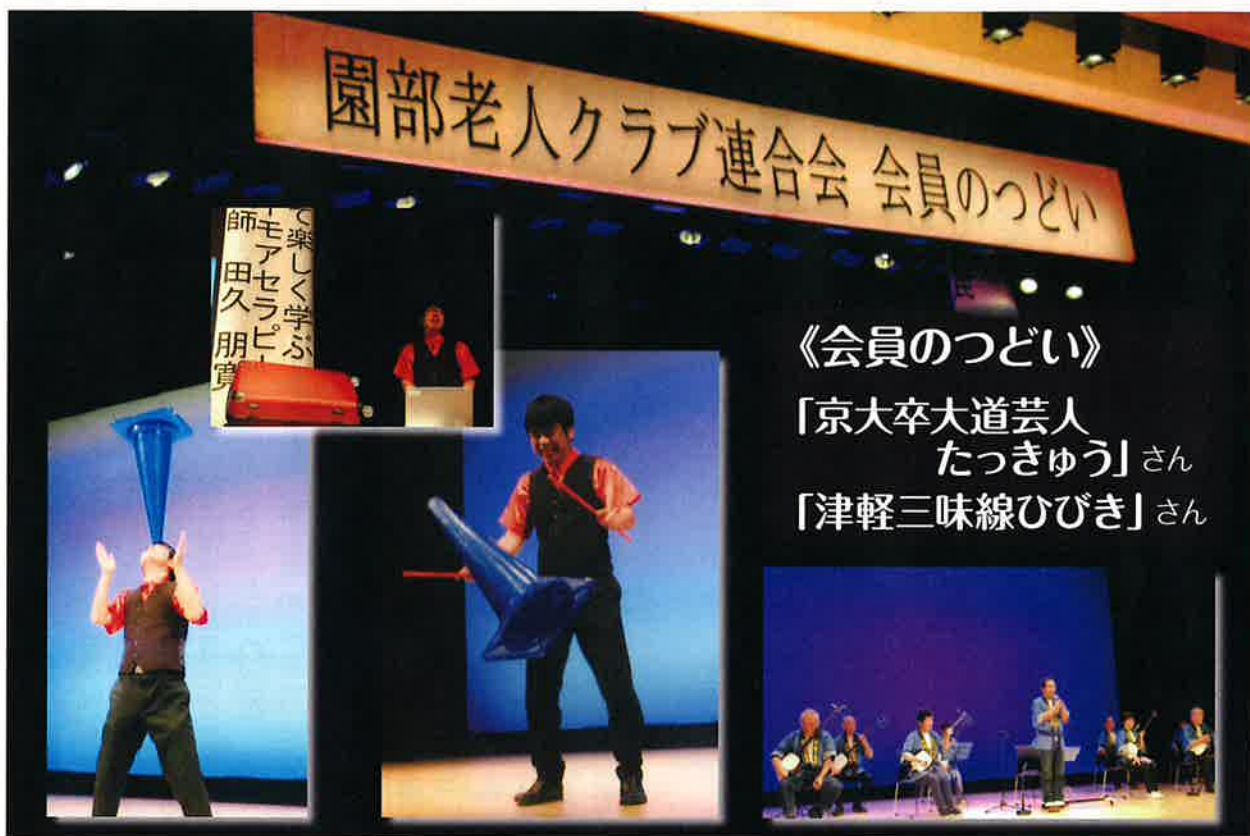
Vol. 40

2024
令和6年

SILVER HOT

園部老人クラブ連合会
機関紙

発行 令和6年12月1日



《会員のつどい》

「京大卒大道芸人
たつきゆう」さん

「津軽三味線ひびき」さん

● 本部署員 ●

令和六年度

園部老連役員体制

会長 栗原 幸一 (曾我合八千代クラブ)

副会長 奥村 安治 (明寿クラブ)

副会長 内藤 保次 (永寿会)

副会長 林 佐紀子 (明朗会)

庶務 角 覺 (ことぶき会)

会計 小谷 照夫 (明朗会)

若手委員 奥井 清 (小桜園寿会)

若手委員 高杉 利夫 (やすらぎ会)

監事 谷 健三 (明和会)

監事 西田 修身 (和楽会)

女性部 部長 中井 良子 (楽笑会)

副部長 東野 榮 (永寿会)

副部長 小林 由利子 (栄寿会)

総務部 部長 内山 易 (小桜園寿会)

副部長 小畠 博文 (和楽会)

文化部 部長 野中 正行 (栄寿会)

副部長 佐野 史生 (船岡万寿会)

体育部 部長 佐々谷 静夫 (明和会)

副部長 下間 はつ子 (白扇クラブ)

— 広げよう!! 仲間づくりの輪 —

ごあいさつ



園部老人クラブ連合会
会長 栗原幸一

今年には記録的な猛暑が続き、熱中症警戒アラートという言葉も流行しましたが、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

会員の皆さんには園部老人クラブ連合会の行事に温かいご支援とご協力をいただき、お陰様ですべての事業が順調にすすんでおりますことにこの紙面をお借りいたしまして厚くお御礼申し上げます。

町老連の基本方針は、会員の健康づくり・仲間づくり・社会貢献であります。

最近、どこの組織にも入らずに自由に暮ら

ごあいさつ



南丹市長 西村良平

会員の皆様におかれましては、南丹市のまちづくり、とりわけ高齢者福祉行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、園部老人クラブ連合会におかれましては、栗原会長を先頭に、会員の皆様が健康で生きがいのある生活の実現に向けて活動されるとともに、社会奉仕活動にも熱心に取り組んでおられますことに敬意を表しますと

していききたいとのことを聞きますが、本当にそれが良いのでしょうか。人はそれぞれの分野で精一杯努力して社会は成り立っています。日常生活を営んでいくためには毎日あらゆる所で人との交流をしています。交流が少なくなると人間関係も希薄になり、仲間と協力をして何かできたとかの感激・共有・協調感もなくなり孤立感のみが残ることでしょう。この不安定な社会でこそ何処かの組織に加入しておくことが必要であり安心して生活ができるかと考えております。最も身近な組織は地域に存在する老人クラブだと思います。先ず、地域の老人クラブに加入していただき地域のことなど身近な話題を共有していただきたい。そうして町老連に参加してください。必ず満足していただける内容があります。多く

もに、重ねて厚くお礼申し上げます。

特に、日頃から自らの健康の維持・増進や仲間づくりのために、グラウンド・ゴルフやワナゲ競技などに積極的に取り組まれ、また、一人暮らし高齢者の方へ女性部が手作りのプレゼントを届けられる友愛訪問活動は、訪問を受けた方々の心の支えになっているのではないかと思います。

老人クラブの事業は「健康・友愛・奉仕」の三大理念を基本とし、積極的に活動いただいていると伺っております。皆様方の地域におけるさまざまな活動は、私達のふるさとを明るく元気にするものであり、併せて、皆様方の豊富な経験と、これまでに培ってこられ

の仲間が待つておりますので是非ご加入いただきますようお願いいたします。

社会貢献については、ハードルがまだ高いようですが今出来ることは地域社会における一つの団体として高齢化社会を担っていくための覚悟も必要です。自治会・社協とともに今後の具体的な内容を追求していかねばと考えます。

今、南丹市では健康寿命を延ばす介護予防のためのいろいろな施策が実施されておりますが、私たちも実働部隊として協力をしたいと考えております。

今年一年間いろいろご協力いただきありがとうございます。新年を迎えて会員の皆さんの更なるご健康とご多幸を祈念いたしましてご挨拶いたします。

た識見と技量は、南丹市の住みよいまちづくりに大いに貢献いただいております。

南丹市におきましても、誰もが住み慣れた地域で生きがいをもって暮らし続けていただけるよう、今後とも各種施策をより一層推進して参る所存であります。

結びにあたり、貴連合会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸、そしてご長寿を心よりご祈念いたします。



園部老人クラブ連合会 総会

令和6年度

令和六年度園部老人クラブ連合会総会は四月二十六日(金)に市役所2号庁舎三〇一会議室において開催されました。
はじめに令和六年度園部老人クラブ連合会永年表彰が行われました。

永年表彰では

- 中嶋 富夫 船岡 万寿会
 - 平田美代子 船岡 万寿会
 - 岡 恵子 城南 百歳会
 - 西岡 葉子 城南 百歳会
 - 富田みつ子 小桜町 園寿会
 - 谷 健三 埴生 明和会
 - 奥村 泰之 埴生 明和会
- にそれぞれ表彰状が贈呈されました。



令和五年度行事報告・収支決算報告・監査結果報告・令和六年度行事計画案・収支予算案が上程され、それぞれ原案通り可決承認されました。

令和6年度収支予算

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(単位 円)

	科目	本年度予算額	前年度予算額	増減額
収入の部	繰越金	738,355	1,111,179	△372,824
	会費	408,000	442,000	△34,000
	補助金	700,000	700,000	0
	寄付金	10,000	10,000	0
	預り金	560,000	560,000	0
	雑収入	645	821	△176
	合計	2,417,000	2,824,000	△407,000
支出の部	会議費	50,000	50,000	0
	旅費	40,000	50,000	△10,000
	事務費	70,000	120,000	△50,000
	役員活動費	80,000	80,000	0
	行事費	1,950,000	2,290,000	△340,000
	負担金	180,000	200,000	△20,000
	慶弔費	20,000	20,000	0
	予備費	27,000	14,000	13,000
	合計	2,417,000	2,824,000	△407,000

令和5年度収支決算

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(単位 円)

	科目	予算額	決算額	増減額
収入の部	繰越金	1,111,179	1,111,179	0
	会費	442,000	425,000	△17,000
	補助金	700,000	636,852	△63,148
	寄付金	10,000	0	△10,000
	預り金	560,000	396,000	△164,000
	雑収入	821	10	△811
	合計	2,824,000	2,569,041	△254,959
支出の部	会議費	50,000	47,803	△2,197
	旅費	50,000	9,000	△41,000
	事務費	120,000	38,800	△81,200
	役員活動費	80,000	69,000	△11,000
	行事費	2,290,000	1,486,083	△803,917
	負担金	200,000	180,000	△20,000
	慶弔費	20,000	0	△20,000
	予備費	14,000	0	△14,000
合計	2,824,000	1,830,686	△993,314	

R6年3月31日 次年度繰越金 738,355円

令和6年度 行事計画

令和6年4月1日～令和7年3月31日

9月	8月	7月	6月	5月	4月
ワナゲ交流大会(市老連大会予選会)	単位クラブ会長会 (研修旅行・会員のつどい(1)) 補助金の交付申請提出	第13回グラウンド・ゴルフ大会 本部役員会(会長会打合せ・市老連の表彰選考)	総務部会(3号庁舎 会議室) 文化部会(3号庁舎 会議室)	体育部会(3号庁舎 会議室) 女性部会(3号庁舎 会議室)	監査 総会

3月	2月	1月	12月	11月	10月
本部役員会 (年間の振り返りと来年度に向けて)	表彰選考委員会 本部役員会		機関紙発行	女性部委員会(友愛訪問作品つくり) 「会員のつどい」健康づくり事業 赤い羽根共同募金	第14回グラウンド・ゴルフ大会(市老連大会予選会) 研修旅行(あわじ花さじき・みかん狩り) 女性部委員会(友愛訪問打合せ) 文化部会(会員のつどい・機関紙発行打合せ)

● 本部役員会……随時
● 専門部会……随時
● 女性部役員会……随時

老連理事 (令和六年度)

ブロック	地区	氏名(男性理事)
川辺	船岡	佐野 史生
摩気	竹井	神田喜久男
西本梅	南大谷	奥村 安治
元村	城南町	田中 博
元桐	木崎町	中川 圭一
ブロック	地区	氏名(女性理事)
川辺	船岡	中嶋 フク
摩気	六人	片野 幸枝
西本梅	若森	中井 良子
元村	栄町	小林由利子
元桐	河原町	荻野千代子

単位クラブ 地区名称・会長 (令和六年度)

ブロック	地区	単位クラブ	会長名
川辺	船岡	船岡万寿会	佐野 史生
摩気	高屋・大戸	大高クラブ	片山 勝彦
西本梅	竹井	やすらぎ会	神田喜久男
	仁江	えびす会	浅野 武男
	大西	大西長寿会	平田 守
	六人	ことぶき会	溝 多計志
	口司	和楽会	松田 健司
	殿谷	美幸会	中井 守
	埴生	明和会	佐々谷 静夫
	南八田	白扇クラブ	下間 はつ子
	天引	和楽会	小島 博文
	南大谷	明寿クラブ	奥村 安治
	若森	楽笑会	中井 英治
元桐	小桜町	小桜園寿会	内山 正行
	栄町	栄寿会	野中 勉
	城南町	百歳会	田中 正
	黒田	明朗会	森 中
	上木崎町	上木崎老友クラブ	新名 則夫
	河原町	亀寿会	田井 建治
	木崎町	きざき活き粋クラブ	中川 圭一
	曾我谷	曾我谷八千代クラブ	林 正市
	千妻	千寿会	崎山 正
	熊崎	永寿会	大下 菊治
	新堂	長寿会	下西 恵美

グラウンド ゴルフ大会

● 7月25日(木)

園部公園スポーツ広場
参加者71名

優勝

上木崎老友クラブ
辻横 和夫 スコア47

準優勝

小桜園寿会
奥井 清 スコア52

3位

栄町 栄寿会
羽野 徹 スコア56

● 10月1日(火)

園部公園スポーツ広場
参加者72名

優勝

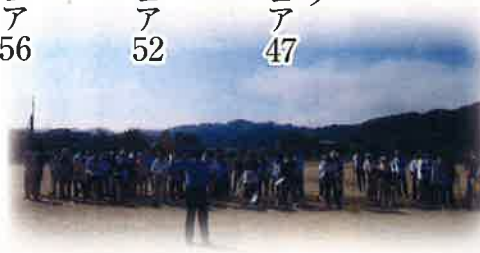
栄町 栄寿会
羽野喜美子 スコア53

準優勝

殿谷 美幸会
奥村 勇 スコア53

3位

船岡万寿会
上田 正宣 スコア54



ワナゲ交流大会

● 6月25日(火)

園部海洋センターB&G体育館
参加者70名

優勝

殿谷 美幸会
奥村 隆男 214点

準優勝

小桜町 園寿会
大町 健 210点

3位

仁江 えびす会
阪田 貢 201点

● 8月27日(火)

園部海洋センターB&G体育館
参加者51名

優勝

曾我谷八千代クラブ
桐野さざみ 231点

準優勝

小桜町 園寿会
大町 健 215点

3位

殿谷 美幸会
奥村 勇 192点



園部老人クラブ連合会ワナゲ交流大会

市老連大会

● 11月19日(火)

日吉ユースホール
参加者 園部20人
八木18人
日吉9人
美山15人

合計62人

団体の部 準優勝

個人の部 (10位まで)

1位	阪田 貢	269点
5位	東野 榮	202点
6位	内藤 保次	197点
7位	大町 健	196点
9位	小谷 照夫	195点



日帰り研修旅行

令和6年
10月28日(月)

●淡路島あわじ花さじき見学とみかん狩り

参加者76名

心配されたお天気も秋日和となり、76名の一行は2台の観光バスに分乗し、淡路島の旅に出発しました。

バスガイドさんの美声による心地よいお話は私たちの心を癒すものでした。大海原を目にしながら明石大橋をわたり「あわじ花さじき」に着きました。そこは花と海を望む夫木ノラマの絶景でもわず両手を広げて大きく深呼吸をしたくなるひと時を楽しみました。

なごり惜しみながらそこを後にして「洲本ごちそう館」で淡路牛賞味に舌鼓をうちながらの談笑昼食会となりました。

つぎの楽しみは「洲本平岡農園」でのみかん狩り、広々としたみかん農園、どこをみても沢山のみかんがなる未また未、みなさんしばし童心にかえって食べ放題の甘いみかんを満喫しました。

「赤い屋根」土産店に立ち寄り買い物も楽しみ帰りのバス内で「楽しかったね、また来年も参加したいね。」の声を耳にして無事に帰ることができました。



女性部活動

記録的な暑さの夏が、ようやく終わったかと思えば、早や冬の気配が…。

会員の皆様には、お元気で過ごすしの事と存じます。相変わらずコロナウイルスや、インフルエンザの感染の心配がなくなっています。が、町老連の行事である、日帰り旅行、ゴルフ大会やワナゲ交流会にご参加される皆様のお元氣な姿に、うれしく感じております。

本年度の女性部の「友愛訪問」のプレゼントは、ペットボトル等のキャップオープナーを用意いたしました。また、心ばかりの「商品券」を同封してお届けしました。

どうかお元氣でお過ごしください

いますようお願いしております。又、町老連の行事に、おさそいあわせの上ご参加頂きますよう、おまち致しております。

令和六年十一月吉日

園部老人クラブ連合会
女性部一同



単位クラブ

●●会員投稿コーナー●●

私と健康ボウリング

園寿会 奥井 清

小桜町区園寿会 奥井清76才です。

今回、私と健康ボウリングについて、少しお話をします。本格的にボウリングを始めて3年になります。最高得点は182点で目標とする200点までもう少しです。毎週土曜日の午前中亀岡のアルプラザボウリング場へ行き、1ゲームの練習後10時から我々悠々クラブメンバー10チーム約30人とのチーム戦が始まります。チームの皆さんとワイワイガヤガヤ、倒れるピンの音等々とてもにぎやかな始まりです。200点以上出ると場内放送され皆さんが拍手です。ストライクはゲータッチ。3ゲームをして合計点(ハンデイ有り)で勝負となり、今週は負けた。来週がんばろう、と言って次週へのファイトがわかります。

私が思うのはこうして健康で毎日が過ぎて週末に自分の力で運動が出来る喜

びを感じられるという事です。6キロ程度のボールを持ち3〜4歩歩いて投げ。この動作の繰り返しですがなかなか思うようにはいきません。でも楽しいです。いつまで続くかわかりませんが…。

午後はサックスの練習です。充実した土曜日です。

運転免許返上

大西長寿会 小島 寛

標記の議題が喫緊の課題である。私は十八歳になるのを待ち兼ねて、梅津の京都府自動車学校で免許を取って六十九年経過し、ちよくちよく違反をしましたが、取り消しまでは至らず、ずっと乗り継いでいる。乗った車は十台を超え。最近ちよいちよい近くの石垣でこすったりするものだから、同居人から、「あまり遠くまでは乗るな」と言われているし、バックでまっすぐに停めづらくなっているのを自覚している。しかし乗り慣れた車を手放したく

はない。田舎に居ては、車のない人生は考えられず、あと一回だけは、免許も更新しようと思っっている。

風の通り道

曾我谷八代クラブ 林 正市

日落ちる野原、夜と昼の間に空は空を追いかけ広がりを渡る。離れて見つめるその隙間を風はすすきを撫で通る。あちらこちらへ逸れゆく間に開いた隙間を通ってゆく。好きな歌詞の一節が頭をよぎる。春はお手玉遊びの花を吹き夏は稲穂の海原駆け巡る。秋はすすきを撫で通り冬はエチュードの木枯らしを叩き響かせ通りゆく。ああ、風はあなたあなたを愛したい。



地域力で会の存続を

きざき活き粋クラブ 中川圭一

本年度より、前任者のご勇退に伴い大役をお受けいたしました。後継者不在で暫く休会との通知を受けて、区長として残念な思いでおりましたら、この大きな区で今日まで先輩の方々が継続して頑張つてこられたのに休会する訳にはいかないので、何とかお忙しい身とは承知していますが、お願い致したいと、声が掛かり我が身も省みずお受け致しました。

本区では、70歳以上の方が、160余名住民登録されております。

お受けいたしましたして一番に思いましたのは入会して頂く為にどうしたら良いのか？魅力ある会には、何が重要なのか？試案に明け暮れる日々です。他の自治区も同じ課題だと聞き及んでいますが、地域の特性を活かした魅力を開掘して、やがて遠からず高齢者世帯・一人暮らし家庭となり遠くの親戚より隣近所の重要性を、地域ぐるみで共助

の精神で公助のご指導をいただきながら、一歩踏み出して参りたいと思いません。

町老連のご指導をよろしくお願いいたします。ご報告と致します。

老人会の再生・再建を！

匿名

わが地域の老人会は今、存続の危機に瀕しています。新規入会者が無いように、お亡くなりになる方も含めて退会者が多く、また、役員を引き受けていただけの方も少なくなつてしまつて、会を運営・維持することが困難になつてきています。なぜ退会者が多く、新規入会者が無いのか、その原因は二つある、と私は思っています。

一つは、老人会の組織の在り方の問題です。これまでの老人会は、同じ地域で小さい時から一緒に過ごしてきた、気心の知れた人たちの集まりであり、また、その中の「まとめ役」としての力ある方が引つ張つてこられたから続いてきたように思います。しかし、

今日では園部の田舎でも住民の横のつながりは昔ほど強固ではありません。高齢者も老人会に入らないと孤立するということもあります。また、同じ老人会の中でも、年齢が異なれば横のつながりにも変化が見られるのです。今日まで老人会を支えてきた人達が一入減り、二人減りしてくる中で、老人会としての「求心力」も弱まってきました。「区」や「町」といった、ある程度の強制力を持った行政組織ではない老人会のような組織を維持することの難しさが、そこにはあります。

老人会の組織が弱小化してきているもう一つの原因としては、老人会としての活動そのものにもあるように思います。まず、老人会は何をするのかはつきりしません。私の住む地域の老人会も、その目的は『会員相互の親睦を図るとともに、健全にして豊かな生活の建設を図ること』と抽象的です。「グラウンド・ゴルフ」のクラブのように、することがはつきりしてはいないのです。もつとも、はつきりしていないから何でもできる強みはありません

が、では、何をすればよいのかを考え
るのは大変で、「人が集まるやるか」、
「あんなことして」と非難されへんや
るか」、「『お金をたくさん使いすぎ
や』って言われへんやるか」と心配も
しなければなりません。だから役員に
はなりたくないから入会しないとい
人もいます。

また、多くの老人会で見られること
ですが、私の地域の老人会規約にもあ
る「地域への貢献。奉仕活動」がネッ
クになっているところもあります。老
人会の活動には強制的なものは一つも
ありませんが、労力の提供が必要な「地
域への貢献・奉仕活動」はしんどい作
業を伴うことであるがゆえに『ほかの
会員さんは参加するけど、自分は参加
しない』というわけにはいかない。「参
加しなければならぬ活動」になっ
ているのです。高齢で足腰の自由が利か
なくなってきたり、健康に自信がなくな
って来ると、「地域への貢献・奉仕
活動」への参加が難しくなってきました
が、そうなる「一杯飲み」のような
「お楽しみ会」にだけ参加することに

は遠慮が生じることとなります。だか
ら老人会を退会したり、あるいは、老
人会には入りたくないという方も出
てきます。

以上、老人会が存続の危機に瀕して
いる二つの原因について述べてきまし
たが、もうこれ以上、これまでの老人
会のようなことをしてはだめでは
ないかと思えます。

最近の老人はいろいろな趣味や得意
とすることを持っておられます。『い
つも みんなで 同じことを いっ
しょに』の時代ではなくなってきたの
ではないでしょうか。自分の趣味や得
意分野を活かせる場を作り、それを支
える組織としての老人会にしていく必
要があるように思うのですが…。



日帰り研修旅行

曾我谷八千代クラブ 井尻 恒博

『何を着て行こうかな?』この前まで
暑くて扇風機で涼んでいたのに、急に炬燵
が欲しくなるほどの冷え込み方。老人会
の旅行に着て行く服が決められず困った
人もたくさんいたのでは。その上当日は
朝から天候がはつきりせず、家を出る時
は傘が必要だったので、尚更のことでした。
そんな不安でスタートした「あわじ花
さじき見学とみかん狩り淡路牛賞味」
と銘打った十月二十八日(月)の日帰り
研修旅行でしたが、時間が経つに連れ、
曇り空がだんだん明るくなっていき、午
後には太陽さえ顔を出す恵まれた天候
になりました。

参加者76名でバス2台、南回りの1号
車と北回りの2号車が京都縦貫道の南
丹パーキングで合流し、一路淡路島へ。「名
神高速」「新名神高速」「山陽道」を経
て「神戸淡路鳴門道」で世界最大級の
吊橋 明石海峡大橋(全長 3911m)
を渡り淡路島に到着しました。

まずは、年中お花畑が広がり、瀬戸内の海とのコントラストが素晴らしい「あわじ花さじき」へ、赤いサルビア、紫のブルーサルビア、紅白とりどりのピンカ、センニチソウが咲き誇る中でも、やはり漢字で「秋桜」と書くコスモスは、私を和ませてくれました。

さて、お昼は楽しみの「淡路牛賞味」です。「洲本ごちそう館」での食事では、焼肉も刺身や煮物もすべて美味しかったのですが、メインのお肉が少なかつたのは少し残念でした。でも、ビールも入り各テーブルで和気あいあいと食事を楽しむことができました。

もう一つのメイン・イベント「みかん狩り」。狭いS字カーブの坂道をひやひやしながらバスに揺られ、会場となる「平岡農園」に着き、園から渡されたビニール袋と剪定鋏を各自手に持ち、担当者から説明を聞いたのち、たわわに実る園内のみかんを狩り始めました。その場で食べるのは「食べ放題」と聞き、前夜の雨露に濡れた枝葉の滴もなんのその、多少衣服が濡れても構わず、「黄色の濃いのがいい」とか、「小さい方がおいしい」

とか言いながら、人によっては七つ、八つ、いやいやもつと狩っては食している人もいたようです。狩り取って持ち帰ることもでき、有料とは言え土産としてはありがたいことでした。

この後は、「赤い屋根」という産地直売所と、「たごせんべいの里」のみやげもの店に寄り、往路の逆を辿り園部への道を辿りました。皆さんと楽しい一日を過ごすことができたこと、また心配した天候に恵まれたことは、本当に良かったです。

最後に栗原会長様はじめ関係役員様に感謝いたします。また、安全に旅行の友をしていただきました運転手、ガイド、添乗員さんに感謝いたします。



園部町の状況

(令和6年8月現在)

人口	15,428人	介護認定を受けている方	977人
65歳以上	4,529人	老人クラブ数	24クラブ
高齢化率	30%	会員数	570人(令和6年4月現在)



シルバー歌壇と俳壇

冠句

秋慕情 至福に満ちて香を焚く
あゝ人生 露草に似た花開く

埴生 明和会 奥村 秀子

記念の日 終盤を指す夫婦坂

雨有情 三面記事に憂う日々

曾我谷八千代クラブ 栗原 悦子

冠句とは十七文字の文学です。冠壇、五文字が出され、中七下五文字を付けて完成させます。

俳句

温暖化不眠続きの穴の熊

静けさや選挙のあとに補聴器つけ

土用丑そんな日取消せ鰻の家族

河原町 亀寿会 田井 建治

皆さんの投句をお待ちしております。

友と会う昔話しに時忘れ

クラス会八十路の春はグループライン

古喜傘米卒業すればまっ白け

栄町 栄寿会 吉田 仁

秋晴れにみんな笑顔でグラウンドゴルフ

空見上げ何時迄元気でおれるやら

健康でおればたのしいグラウンドゴルフ

あと七年元気で百迄すごしたい

四季のある日本に生まれてよかったネ

裏庭の柿の木一つも実をつけず

城南町 百歳会 岡 恵子

短歌

初に見る時代祭を車窓より

紫式部見送る幸よ

天引 和楽会 岡本みさ子

山際ぎわを染めて広がる夕あかね

朝日あることを約し輝く

埴生 明和会 谷 喜久子

会員のつどい



11月8日(金)午後1時30分から南丹市園部文化会館アスエルそのべ大ホールにおいて「会員のつどい」を開催。今年も百五十余名の方々に参加を頂き盛大に開催。林副会長の司会で定刻に始まりました。

栗原会長のあいさつのとアトラクションで「津軽三味線ひびき」10名のみなさんによる、民謡のはぎれのよいバチさばき、会場一杯に三味の音が響きわたりました。

アンコールの声に応えていただき方々の拍手のうちに幕がおりました。

続いて「笑いと健康について楽しく学ぶユーモアセラピー」と題して「京大卒大道芸人たつきゆうさん」の絶妙な演技と話術で観客を魅了するテクニクは見事なものでした。

本号に寄稿して頂きました皆様方に心から感謝し、厚くお礼申し上げます。
お陰様で第40号の記念紙を無事発刊することができました。
文化部一同



— 見る! 聞く! 話す! 「活動」に「参加」しよう —